

さらなる時代の扉をひらけ  
札幌学院大学  
創立50周年



Sapporo Gakuin University

# 学園広報

1996. 7. 1 No.64

編集・発行 札幌学院大学 企画調査室  
〒069 北海道江別市文京台11番地  
電話 (011)386-8111



新入生代表の挨拶の後、杉本学長と握手する大場新吾君

## ようこそ新入生

### 一、四一六名迎え入学式

四月四日(木)午後二時から、北海道厚生年金会館大ホールにおいて、来賓、父母のご出席をいただき、平成八年度の入学式が盛大に挙行された。

本年度の入学式は、大学院法学研究科七名、商学部第一部商学科二七七名、経済学部経済学科二五八名、人文学部人間科学科一六二名、同英語英米文学科一〇〇名、法学部法律学科一三三名、社会情報学部社会情報学科二五五名、商学部第二部商学科一四四名、総計一、四一六名が入学した。

式は、杉本学長の式辞で始

まり、山本理事長(当時の)の祝辞、続いて、在学生を代表して商学部学生自治会執行委員長の中西一弘君が「卒業する際には胸を張って『僕は、私はこんなことを学んだ。得ることができた。』と言えるように……』と激励と歓迎の言葉を述べた。

また、新入生を代表して、社会情報学部社会情報学科の大場新吾君が「私達がこの札幌学院大学を卒業する時には、現時点の私達の姿よりも何倍にも成長した形で自信を持って社会へ巣立って行きたい。」と決意を述べた。最後に吹奏楽団の演奏で校歌を斉唱し、式は滞りなく終了した。



先輩学生実行委員が企画した学部交流会、新入生の笑顔が弾ける

## 平成9年度 入学試験日程

### ■大学院入学試験

研究科	出願期間	試験日	試験場	合格発表日	入学手続締切日
法学研究科修士課程	9月17日(火)~10月5日(土)	10月19日(土)	本学	10月30日(水)	11月15日(金)

### ■一般入学試験

学部・学科	出願期間	試験日	試験場	合格発表日	入学手続締切日
人文学部人間科学科	1月8日(水)~ 1月20日(月)	2月7日(金)	本学 青森 仙台 東京 大阪	2月25日(火)	3月4日(火)
商学部第二部商学科					
法学部法律学科					
経済学部経済学科					
人文学部英語英米文学科	2月25日(火)~ 3月3日(月)	2月9日(日)	本学	3月10日(月)	3月18日(火)
社会情報学部社会情報学科					
商学部第一部商学科	2月25日(火)~ 3月3日(月)	2月10日(月)	本学	3月10日(月)	3月18日(火)
商学部第二部商学科(第二期試験)					

### ■推薦入学試験

学部・学科	出願期間	試験日	試験場	合格発表日	入学手続締切日
商学部第一部商学科	11月1日(金)~ 11月12日(火)	11月26日(火)	本学 青森 東京	12月10日(火)	12月19日(木)
人文学部英語英米文学科					
法学部法律学科					
経済学部経済学科					
人文学部人間科学科					
社会情報学部社会情報学科	11月27日(水)				

### ■特別入学試験・社会人入学試験

学部・学科	出願期間	試験日	試験場	合格発表日	入学手続締切日
人文学部英語英米文学科	11月1日(金)~ 11月12日(火)	11月26日(火)	本学 青森 東京	12月10日(火)	12月19日(木)
法学部法律学科					
商学部第二部商学科					
人文学部人間科学科					
社会情報学部社会情報学科	11月27日(水)				

### ■特別入学試験・外国人留学生試験

学部・学科	出願期間	試験日	試験場	合格発表日	入学手続締切日
全学部・全学科(商学部第二部商学科を除く)	12月10日(火)~12月19日(木)	1月23日(木)	本学	1月28日(火)	2月13日(木)

## さらなる飛躍をめざして 新理事会が発足



伊坂 重孝 理事長

五月二十七日開催の学校法人札幌学院大学第一一六回理事会(第六十七回評議員会)で、任期満了による役員の変更が行われた。引き続き開催された第二七回理事会では、今期をもって任期満了の山本武理事長の後任として、伊坂重孝理事(札幌テレビ放送(株)代表取締役社長)が第九代理事長に選任された。また、常務理事に佐藤将博教授および畑山紀教授が選任された。今期の役員は次の通りである。

- ◎理事長 伊坂 重孝 札幌テレビ放送(株)代表取締役社長
- ◎常務理事 佐藤 将博 本学教授  
畑山 紀 本学教授
- ◎理事 杉本 正 本学学長  
山本 武 Uhb大学学長  
横山 未雄 横山食品(株)代表取締役社長  
中道 昌喜 中道機械(株)代表取締役社長  
中川 正男 北海道文化放送(株)相談役  
竹内 恒之 榊小樽ランドホテル代表取締役社長  
柴野 外治 榊小樽クリンホテル代表取締役社長  
地崎 昭宇 地崎地崎工業代表取締役社長
- ◎監事 小林 英愛 小林企業(株)代表取締役社長  
佐々木 洋 本学教授  
吉川日出男 本学教授  
三好 宏一 本学教授 経済学部学部長  
鈴木 敬夫 本学教授 法学部長  
狩野 陽 本学教授 (社会情報学部学部長)  
穴戸 親孝 本学事務局長  
佐藤 光晴 本学総務部長

## 新理事長に伊坂重孝氏

昭和三十四年に札幌テレビ放送(株)に入社。四十二年取締役総務局長、五十六年代表取締役副社長を経て、六十三年に代表取締役社長に就任し、現在に至っている。また、昭和五十四年から本学理事、平成六年からは札幌学院大学後援会会長など本学園の充実発展に尽力された。この間、北海道立三好好太郎美術館協賛会会長、日本民間放送連盟副会長などを歴任され、現在、(財)アイヌ無形文化伝承保存会理事、(財)札幌彫刻美術館評議員、札幌市長期総合計画審議会委員、北海道文化財保護協会副会長など多数の要職に就かれている。札幌市出身。七十三才。

## 新入生合宿オリエンテーション 「友達たくさんできた」

平成八年度の新入生合宿オリエンテーション(以下「合宿オリ」)が、四月八日の午後から九日の二日間に亘って実施された。

この「合宿オリ」は、一九

八〇(昭和五十五年)年に商学部の学生を対象に実施して以来、今年度で通算十七回を迎える。定山温泉のホテルを会場に、新入生一、三五八名が参加した。

「合宿オリ」は教職員、学生実行委員と新入生が様々な

企画を通して交流を深め、「新入生の仲間づくり、大学生活への不安の解消」を図ることを目的としており、今後、各学部の特色が出るような企画等に工夫を凝らし、全学的行事として継続して行きたいと考えている。

新入生に実施したアンケート結果でも、多くの学生が「友人がたくさん出来て、大学生活を送る上で不安がなくなった」と答えており、今後も各学部の特色が出るような企画等に工夫を凝らし、全学的行事として継続して行きたいと考えている。

## 創立50周年 エンブレムを制定

### 記念式典・祝賀会は平成9年6月14日

現在、国際化の急速な進展のなかで本学においても海外との学術交流・学生の留学や文書交換が増加していることに鑑み、封筒・便箋・諸証明書用紙にも利用出来る校章以外のエンブレム(標章)の必要性が強く要請されていた。今年創立五〇周年を迎えるのを契機に記念事業の一つとして制定準備を進めていたもので、去る二月十九日、制定準備作業を進めていた「エンブレム等制定委員会」から理事長(記念事業実施本部長)に報告があり諸手続きを経て制定された。

## キャンパス見学会

受験生・父母の皆さん、SGUを直に体験するチャンスです。もちろん高校1・2年生も大歓迎です。皆さんお気軽にお越しください。

内容：入試・学生生活・就職等相談、施設見学、ビデオ放映、その他

### 8月31日(土) 14:00~

当日は地下鉄東西線新さっぽろ駅8番出口前より、無料送迎バスを運行します。



雪の結晶をイメージした大地から、「若い生命力の象徴」とも言える大学の花キタコブシが未来に向かって伸びる姿を表現しています。白は北の大地、赤は情熱、青は知性を表わしています。

# 大学改革 全学共通科目を新設

## 新たな教育体制をめざして

昨年、本学の長年の懸案であった「一般教育」の改革に関する提議がまとられ、本年度から新たな体制の下で「全学共通科目」として教養教育が実施されることになった。改革の目的は「幅広く、深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する」という従来の意図に添いつつ、本学独自の改革案が導入されている。

改革の第一は、セメスター制を部分的に実施し、半期二単位科目を増やして、科目の多様化を図った。基礎教養セミナーの開設など、科目の多様化は本改革の大きな成果の一つである。またセメスター制の部分的実施は、学生が海外留学に出やすくなるなど、そのメリットは大きい。改革の第二は、各学部の専門教育との有機的連関を図り、四年間一貫教育をめぐらしたということである。改革の第四は英語新カリキュラムが本年度より実施されたことである。教育内容が総合化され多彩となり、運用能力の開発により適応したものに「新設された」。

### カリキュラム改革

まず、従来の三系列を五類に分けて編成し直し、そのなかでも語学、論述、作文、情報教育、スポーツ(これまでの体育実技)を「基礎共通科目」として位置づけ、その充実を図ることにした。さらに総合講義の充実を企図し、そのなかに健康科学(従来の体育理論)と「現代女性と職業」をテーマにした科目を新たに位置づけた。

### 教育責任体制の改革

以上の改革に伴い、その全学共通科目の教科を担う教員組織の改革が実施された。従来の「一般教育協議会」が廃止され、「総合教育協議会」と「総合教育センター」が新たに新設された。両組織の長を兼ねる「センター長」の下で、今後の教養教育の充実が図られることになる。カリキュラム編成は教員の教育的情熱の具体化でもあり、全学共通科目と専門科目の有機的連関の改善をめざすなど、新たな展開が要望されている。

### 履修要項(シラバスを含む)の新規作成

同時に、学生向けシラバスの必要性が急務的に検討され、本年度新たに各教科のシラバスを含む「履修要項」が作成された。これまで全学で一冊にまとめられていた「履修のてびき」は、全学共通と各学部の履修要項に分けられ、充実された。以上の改革は、履修上の多様化・弾力化を図るなかで、現在の情報化・国際化等の社会

## 自覚を持って運転を! 交通安全講習会を実施

入構許可者(交通事情並びに課外活動等の理由)及び一般学生を対象として五年前から行われている。

初日は、江別警察署交通課長の原田秀樹氏を講師に迎え、「交通安全について」と題して、特に若年層の事故事例を中心に話を進められ、学生の心を引き付けていた。

二日目は、白石警察署交通課長の佐野正人氏に講師をお願いし、「交通事故の現状と学生に望むこと」と題して、北海道における事故の現状と、ドライバーとしての基本的な心構えで行きた。

この講習会で、学生がドライバーとしての社会的責任を自覚し、事故のない学生生活を送れるよう切に願うと共に、今後もこのような講習会を行い、より多くの学生に交通安全を呼びかけ、事故防止に取り組んで行きたい。

## 平成7年度決算 8年度予算

学校法人札幌学院大学の「平成7年度決算」ならびに「平成8年度予算」が理事会で承認されました。その概要は次のとおりです。

【平成7年度決算の概要】

消費収支の当初予算における収入と支出のバランスを崩すことなく、若手の墨を計上する事ができました。入学志願者減による手数料収入の減少や、学内LAN敷設工事による基本金及び補助金の増加、さらに経費削減努力等によって、細かい項目上の増減はあったものの、結果的には消費収支差額において、ほぼ当初予算に近い形になりました。

### 【平成8年度予算における主な重点政策事業】

1. 厚生施設等(E・F・G館)の建設
  - (1) E館:三、七三〇㎡ (地下二階、地上四階)
  - (2) F館:五、二〇〇㎡ (地上五階、売店、書籍販売、諸団体室、部室、会議室、合宿所、音楽練習室、保健センター他)
  - (3) 一般教育改革における「総合教育センター」に関する調査
2. 五〇周年記念事業の準備及び一部実施
3. 教育・研究発展政策立案に関する各種調査費
  - (1) 大学充実発展計画に伴う調査
  - (2) コンピュータ設備・LL設備等の更新に備えた調査
  - (3) 一般教育改革における「総合教育センター」に関する調査
4. 教育及び学生諸活動援助
  - (1) 英語新カリキュラムに対応するため、小教室6室・視聴覚設備を設置
  - (2) TOEFL準備講座を新規開設
  - (3) 課外活動指導における学外監督コーチ交通費を大学予算として計上
5. 経営的業務において特に改善した事業
  - (1) 経常図書、経費資料、外国雑誌、国内雑誌等の大幅な充実
  - (2) 各学部共通に専門演習補助金改善
  - (3) 社会情報学部卒業研究用パソコンの導入
6. 研究諸条件の改善
  - (1) 全国学会発表補助、国外出張補助の改善
  - (2) 研究促進奨励金
  - (3) 個人研究、共同研究、共同教育研究の改善
  - (4) 理系教員研究助成費を改善



## 教職員人事

- ◎任命  
平成八年四月一日付  
法務部長  
鈴木 敬夫 教授 再任
- ◎採用  
平成八年四月一日付  
前北海道大学法学部教授  
遠藤 文夫 教授 行政法特講 担当
- 前北海道大学法学部教授  
早田 和弥 教授 統計学担当
- 昭和五十九年北海道大学大学院工学研究科修士課程修了  
前北海道大学理学部助教  
湯本 誠 助教 産業社会学 担当
- 昭和五十九年立命館大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学  
前滋賀文化短期大学専任講師  
四十歳  
原 晴生 講師 監査論 担当
- 昭和五十九年立命館大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学  
前滋賀文化短期大学専任講師  
四十歳  
湯本 誠 助教 産業社会学 担当
- 昭和五十九年立命館大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学  
前滋賀文化短期大学専任講師  
四十歳  
山崎 哲永 講師 論述・作文 担当
- 平成八年北海道大学大学院文学研究科博士課程中退  
二十九歳  
石川 千温 講師 情報科学概論 担当
- 前北海道電力(株)札幌支店庶務課長  
六十歳  
津田 孝 管財課勤務
- 前KPMGビート・マイウィック LLP 監査部門(ニューヨーク)卒業  
四十六歳  
森谷日出夫 入試課勤務
- 前北海道札幌手稲高等学校事務局長  
二十二歳  
茅野 涼子 教務課勤務
- ◎昇格  
平成八年四月一日付  
教授 光武 幸  
助教 碓井 和弘  
助教 藤本 智之
- ◎退職  
平成八年三月三十一日付  
鮫島 和子 (教授)  
本間 富雄 (教授)  
藤井 史朗 (助教)  
Lester A. Gant (講師)  
Jonathan S. Walsh (講師)  
中島 實 (管財課)  
永倉 建郎 (総務課)

## 話 題



### 入学院に社会人入学し 研究生生活に励む

大学院法学研究科 佐藤 俊一さん

私が札幌学院大学の前身である札幌商科大学を卒業したのは、今から十五年ほど前のことになります。当時、私は商学部のみで単科大学としてスタートした商科大学に、経済学科が増設され二学科制となっていたことで、学生はほとんどが男子で女子学生は一学年に十人程度と非常に少なくなりました。

さて、私は平成八年三月の大学院入試において幸運にも合格することができ、四月から社会人大学院生として新しい生活を送っております。研究生生活は大学を卒業してからずいぶん時間が経っていることもあり、毎日がとても新鮮に感じています。しかし、自分の研究については思うように進まず、苦労しているところです。

私の研究テーマは、オーナー

### 消費収支計算書

	(単位千円)	
	平成7年度決算	平成8年度予算
収入	5,306,282	5,331,398
基本金組入額合計	△1,352,231	△1,059,890
消費収入の部合計(ア)	3,954,051	4,271,508
支出	3,949,832	4,268,277
消費収入超過額(黒字)又は消費支出超過額(赤字)(ア-イ)	4,219	3,231
翌年度繰越消費収入超過額	578,241	581,472

### 貸借対照表

	(単位千円)		
	本年度末	前年度末	増減
資産の部	19,173,349	17,824,488	1,348,861
固定資産	14,778,799	13,542,360	1,236,439
有形固定資産	9,353,258	7,709,125	1,644,133
その他の固定資産	5,425,541	5,833,235	△407,694
流動資産	4,394,550	4,282,128	112,422
負債の部	3,342,377	3,349,966	△7,589
固定負債	2,117,852	2,218,316	△100,464
流動負債	1,224,525	1,131,650	92,875
基本金及び消費収支差額の部	15,252,731	13,900,500	1,352,231
消費収支差額	578,241	574,022	4,219
小計	15,830,972	14,474,522	1,356,450
負債の部-基本金及び消費収支差額の部合計	19,173,349	17,824,488	1,348,861

故花田 圭介先生  
元本学教授花田圭介氏は平成八年五月二十六日、病氣のため七十四歳で逝去されました。

先生は北海道大学を定年退官後、昭和六十二年四月から平成二年一月まで人文学部教授として勤務され、現代哲学、道徳思想論の担当をはじめ、本学の教育研究に多大なご尽力ご貢献をされました。

ここに衷心より謝意を表すとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



# '96 就職戦線本番に 学生の奮闘に期待

超氷河期と表された厳しい就職戦線のもと今春大学卒業した学生の就職率は、文科三・四であるとの報告が...



適職を求め、就職課職員と面談する学生

省の「就職状況調査結果」(四月一日現在)によると九〇・九%で、北海道・東北圏に限って見ると、八九・七%であり、全国平均より低い数字として報告されている...

昨年と比較し約百件上回っている。それを男女別に見ると、男子九四・六%、女子九〇・九%で、北海道・東北圏に限って見ると、八九・七%であり、全国平均より低い数字として報告されている...

## W杯初出場で優勝 めざすは長野五輪

経済学部1年 坂本 豪大君

フリースタイルスキー・モーグルの日本代表選手として世界大会等で活躍している原大虎君(経済学部四年)と、怪我を克服し、今季全日本選手権大会のエリアルで復活の優勝を成し遂げた岩淵千代子さん(人間科学科三年)に続き、新たに坂本豪大君(経済学部)が入学した。



日本人で初優勝、表彰台に立つ坂本君(中央)=W杯最終戦(スイス)

## 女子学生8名 万里の長城ランニング

中国の歴史・文化にも触れ

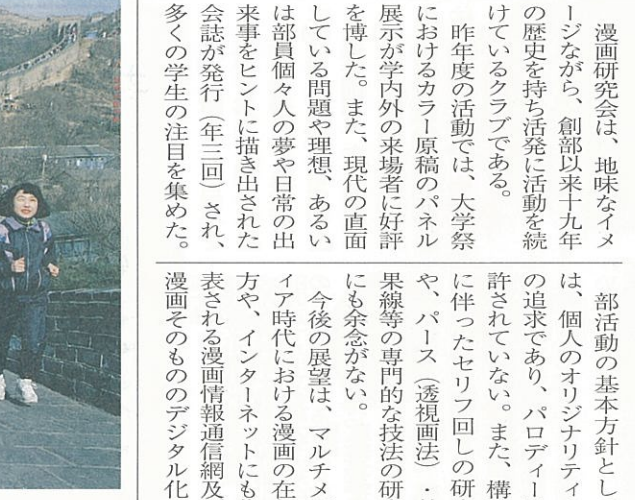


万里の長城を笑顔で走る女子学生たち

第20回学術講演会 一講演と音楽の夕べ 札幌学院大学創立50周年記念

## 道内での日本拳法の躍進めざして

創部2年目 期待の格闘魂



昨年度の全日本拳法選手権大会では、創部初年度ながら好成績を残した

仙台市民講座 一講演と音楽の夕べ 札幌学院大学創立50周年記念

## 「世界に広がる漫画文化」をテーマに 漫画研究会

漫画研究会は、地味なイメージながら、創部以来十九年の歴史を持ち活発に活動を続けているクラブである。



昨年度の大学祭で好評を博したカラー原稿のパネル展示

第20回学術講演会 一講演と音楽の夕べ 札幌学院大学創立50周年記念